

令和8年度 第1回浦安市文化財審議会議事録

1 開催日時 令和8年7月23日（木） 14時30分～16時30分

2 開催場所 郷土博物館 視聴覚室

3 出席者

（委員）菅根委員長、中山副委員長、颯原委員、大石委員、今井委員、泉澤委員、宇田川委員

（事務局）教育長、生涯学習部長、生涯学習部次長、郷土博物館長、郷土博物館職員5名

（傍聴人）なし

4 議 事

- （1）報告事項 ①本市における文化財保護の取組について
②旧大塚家住宅移設に伴う文化財ゾーン活用計画案について
③史跡表示板の改修について

（2）その他

（3）視 察 夏休み企画展「もっと知りたいふるさと浦安」

5 会議経過

会議に先立ち、委嘱状の交付を行った。交付後、教育長、各委員があいさつを行い、事務局紹介を行った。

引き続き正・副委員長の選出を行い、委員長に菅根幸裕氏、副委員長に中山高樹氏が選出され、それぞれあいさつを行った。

6 協議概要

（1）報告事項 ①本市における文化財保護の取組について

配付資料に基づき、事務局より説明した。
主な質疑・応答については、以下のとおり。

- （委員）休日の入館者数が令和6年度より大幅に増加しているが、要因はあるか。
- （事務局）休日にはイベントを多く開催しており、休日の平均入館者数は700人程度であるが、イベント開催日は1,000人を超えることもある。テレビ取材等が増えており、メディアの紹介と館の取り組みの相乗効果であると考えている。
- （委員）旧宇田川家のベンチ修繕について、前回の会議で話題になったことがすぐに実行されており良いと思う。文化財住宅周辺に人の流れを作るうえで、ベンチ等も大切だと思っている。住宅だけでなく周辺の整備も引き続きお願いしたい。
- （委員長）浦安市国際交流協会との連携の話があったが、良い取り組みだと思う。この団体はどこの所管なのか。

- (事務局) 地域振興課の文化国際係が管轄しているボランティア組織である。市内在住の外国人の支援などを行っており、当館ではパンフレットの翻訳等に協力いただいている。国際交流協会や、地域振興課とも連携しながら国際交流にも取り組んでいきたい。
- (委員長) 地域や他部署との連携が図られている良い例となっていると思う。

②旧大塚家住宅移設に伴う文化財ゾーン活用計画案について

配付資料に基づき、事務局より説明した。
主な質疑・応答については、以下のとおり。

- (委員) 文化財住宅の管理という言葉があるが、「管理」とは建物の管理なのか、活用の進捗管理を指すのか。また、運営は指定管理になるのか、指定管理なら博物館はどう関わっていくのか、といったことを整理してほしい。
- (事務局) 建物の管理を指している。運営に関しては指定管理ではなく、建物の管理は委託しつつ、活用や運営は博物館が主体となって行っていく。
- (委員) 市民がより活用しやすく、また様々な団体とも連携していきたいということであるが、活用の方法についても整理した方がよいと思う。
- (事務局) 基本的には年間計画を立てた上で各団体と連携していきたいと考えている。
- (委員) 市民ボランティアもぜひ育ててほしい。
- (委員) 計画のイメージイラストについては、建物の屋根の形などを実際のものに近づけた方がよい。また、植栽が旧大塚家住宅の前にあるが、旧大塚家の庭先が実際にどれくらいあったのか検証したうえで、適切な広さで作ってほしい。また、旧宇田川家住宅と旧大塚家住宅と一体的な活用を行うとのことだが、庭を介して行き来できるようにするのか、あるいは路地からそれぞれ入っていくのかという部分を検証し、イラストにも反映してほしい。近隣の神社なども掲載されているとより説明的になると思う。
- (事務局) イラストは現時点のイメージ図であるので、今後反映していく。
- (委員長) 今回提出する意見はどういった形で計画に反映されるのか。
- (事務局) 関係各課との調整の中で、文化財の保全・活用のための条件を提示していく必要がある。その根拠とするために、本会でいただいた意見を基に活用計画案に反映させていく。
- (委員) 公衆トイレの設置や、また住宅内の空調はどうなるのか。
- (事務局) トイレは多目的広場内に設置される予定である。住宅内の空調については、指定文化財のため難しい部分がある。文化財の保存と両立できるよう検討する。
- (委員) 建物に新たに空調をつけるのは難しいと思う。送風機などを使用して対応しているところもある。
- (委員) スポットクーラーなどを利用するのも良いと思う。
- (委員) 「文化財ゾーン」というのはこの図面で提示されている部分のみとのことだが、近隣の寺社などとの関わりはどうなるのか。
- (事務局) 図面で提示しているのは今回の計画において整備する予定の部分であり、将来的には近隣の史跡や寺社も含めた活用を考えている。

- (委 員) NPO法人文化交流サポート浦安という団体では、大蓮寺でコンサートをするなど様々な活動をしている。うまく連携していくと良いと思う。
- (委員長) 本会から提出する意見が保存活用に重要になってくると思う。市民団体との連携や植栽の話等含め、様々な意見を出してほしい。
- (委 員) 記念橋に関して、名前だけ残した新たな橋を作る、このまま残してほしい等様々な意見を聞いているが、記念橋に文化財的価値があるのか、という基本的な部分について委員の意見を聞きたい。
- (委 員) 安全のために欄干が高くなったことがあり、その時点で景観は変わっている。取り壊すにしても、記録を残しておくのが大切であると思う。
- (事務局) 現状、記念橋については、記録を残した上で史跡表示板を建てる予定である。市街地整備課や道路整備課が中心となって行っているまちづくり計画全体の中で、市民の利便性や安全性等を優先した上で検討が行われている。

③史跡表示板の改修について

配付資料に基づき、事務局より説明した。
主な質疑・応答については、以下のとおり。

- (委 員) QRコード等を使用し、文章を音声等で紹介できると良いと思う。
- (事務局) 音声対応や多言語対応を行っている自治体もある。今後どのような工夫ができるか、関係各課とも連携しながら検討していきたい。
- (委 員) 「左右天命弁財天」の史跡表示板について、文章を平易にするということであるが、新しい文案では、もともとあった「灰やのくるわ」という表現が消えている。文章全体を平易するのはよいと思うが、この言葉は歴史的な言葉として残した方が良いのではないか。
- (事務局) 左右天命弁財天の近隣がかつて「灰やのくるわ」と呼ばれていたようである。わかりやすいように注釈をつけた上で「灰やのくるわ」という言葉を残した文案を、議事録案と合わせて確認いただけるようにする。また、この言葉が実際にどの地域を指していたのかもあわせて調査をしたい。
- (委 員) 父の世代が実際に「灰やのくるわ」と呼んでいたのを覚えている。実際に使用していた世代の人に話を聞けると良いと思う
- (委員長) 昔の話はどんどん聞けなくなっていくので、伝承の機会を作ることも大切である。

(2)その他

委員より、浦安の新たな民謡「浦安ベカ舟唄」について報告があった。

以上をもって、令和8年度第1回浦安市文化財審議会は閉会した。
会議後、企画展「もっと知りたいふるさと浦安」の視察を行った。